

教育研究業績概要

氏名 平井 一行 ()				
研究分野		所属学会等の名称		
生物薬学 医療系薬学 細菌学		日本薬学会 日本環境感染学会 日本細菌学会 日本防菌防黴学会 製剤機械技術学会 日本薬学教育学会		
担当授業科目名 薬剤・製剤学分野実習				
教育上の能力に関する事項				
事項	年	概要		
1 教育の実践例、教育に関する評価等				
2 作成した教科書、教材、指導書等 鈴鹿医療科学大学薬学部薬理・動態学分野実習書 鈴鹿医療科学大学薬学部薬剤・製剤学分野実習書	2011-2013 2014-2022	共著（出屋敷喜宏、伊奈田宏康、平井一行 他3名） 共著（出屋敷喜宏、中山浩伸、平井一行 他2名）		
3 教育実践に関係がある実務経験・委員・講師等				
職務上の実績（学術団体や社会等における活動）に関する事項				
事項	年	概要		
1 資格、免許、特許、受賞等 ・薬剤師免許 ・おかやまバイオアクティブ研究会 第34回シンポジウム 学生奨励賞	2007 2009	厚生労働省 おかやまバイオアクティブ研究会		
2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務経験等 ・第33回微生物シンポジウム	2021	事務局員		
研究業績等に関する事項				
著書名、報告書名等	単・共著の別	発行年	発行所等の名称	著者名・ページ数等
(著書)				
(報告書等) ・新誘電体ガラス素材とステンレスの難接合部材接合技術開発に基づく画期的な高効率オゾン発生システム研究開発 ・非結核性抗酸菌 (NTM) の新規検出方法の開発 ・エアロゾルと内視鏡自動洗浄機からの非結核性抗酸菌 (NTM) の検出と汚染対策の構築	共著 単著 共著	2017 2017 2021	公益財団法人三重県産業支援センター 鈴鹿医療科学大学 鈴鹿医療科学大学	戦略的基盤技術高度化・連携支援事業 戦略的基盤技術高度化支援事業 経済産業省 研究開発成果等報告書 文部科学省・科学研究費補助金 (2015 - 2016年度) 若手研究(B) 研究成果報告書 文部科学省・科学研究費補助金 (2018-2020年度) 基盤研究C(主) 研究成果報告書

学術論文 学会発表等の題名	発表者名	発表誌名・巻・ページ・発表年等 学会名・発表年・開催都市名等
<p>(学術論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> Regulation of cellular immunity prevents <i>Helicobacter pylori</i>-induced atherosclerosis. <i>Helicobacter hepaticus</i> in Human Bile Samples of Patients with Biliary Disease. Immune Reactions Against Elongation Factor 2 Kinase: Specific Pathogenesis of Gastric Ulcer from <i>Helicobacter pylori</i> Infection. Passive Oral Immunization by Egg Yolk Immunoglobulin (IgY) to <i>Vibrio cholera</i> Effectively Prevents Cholera. <i>Helicobacter pullorum</i> と炎症性腸疾患 —ホモセクシャルの病原体から IBD まで?— 6-(4-Amino-2-butyl-imidazoquinolyl)-norleucine: Toll-like receptor 7 and 8 agonist amino acid for self-adjuvanting peptide vaccine. カンジダのストレス応答からみえてきた真菌症治療戦略 Promising Therapies for Fungal Infection Based on the Study to Elucidate Mechanisms to Cope with Stress in <i>Candida</i> Species. Investigation of the Effective Concentration of Ozonated Water for Disinfection in the Presence of Protein Contaminants. Inhibitions of human parainfluenza virus type 2 replication by ribavirin and mycophenolate mofetil are restored by guanosine and S-(4-nitrobenzyl)-6-thioinosine. 薬学教育への NDB オープンデータ・薬剤データの利活用を目指して Inhibitory effect of traditional herbal (kampo) medicines on the replication of human parainfluenza virus type 2 in vitro. DBD プラズマアクトチュエータを用いた大腸菌の殺菌 Recombinant Human Soluble Thrombomodulin Suppresses Arteritis in a Mouse Model of Kawasaki Disease. 	<p>Ayada K, Yokota K, <u>Hirai K</u>, ほか 9 名</p> <p>Hamada T, Yokota K, <u>Hirai K</u>, ほか 5 名</p> <p>Ayada K, Yokota K, <u>Hirai K</u>, ほか 7 名</p> <p><u>Hirai K</u>, Arimitsu H, Umeda K, ほか 7 名</p> <p>横田憲治、<u>平井一行</u>、小熊恵二</p> <p>Yoshio Fujita, <u>Kazuyuki Hirai</u>, Hiroaki Taguchi, ほか 1 名</p> <p><u>平井一行</u>、犬飼達也、中山浩伸</p> <p><u>Kazuyuki Hirai</u>, Tatsuya Inukai and Hironobu Nakayama</p> <p><u>Hirai K</u>, Ando N, Nakayama H. ほか 3 名</p> <p>Jun Uematsu, <u>Kazuyuki Hirai</u>, Hiroshi Komada. ほか 7 名</p> <p>藤田 快男, <u>平井 一行</u></p> <p>Jun Uematsu, <u>Kazuyuki Hirai</u>, Hiroshi Komada ほか 18 名</p> <p>山川太嗣、横山春喜、平井一行、 中山浩伸</p> <p>Hironobu Nakayama, <u>Kazuyuki Hirai</u>, Koji Suzuki ほか 7 名</p>	<p>Lupus 2009 18: 1154-1168</p> <p>Helicobacter 2009 14: 545-551</p> <p>Clinical and Developmental Immunolog 2009 Volume2009, ArticleID 850623, 10 pages</p> <p>Acat medica okayama 2010 64(3): 163-70.</p> <p>Helicobacter Research 2010 14(2): 104 -109</p> <p>Amino Acids 2016 48(5): 1319-29</p> <p>Medical Mycology Journal 2016 57 (4): J163-J170</p> <p>Medical Mycology Journal 2017 58 (2): E79-E86</p> <p>Biocontrol Sci. 2019 24(3):155-160</p> <p>Drug Discoveries & Therapeutics. 2019 13(6):314-321.</p> <p>日本薬学教育学会第 4 巻 (2020) doi: 10.24489/jjphe.2019-034</p> <p>Drug Discoveries & Therapeutics. 2021. 15(4):180-188</p> <p>教育工学 2021, 44: 22-24</p> <p>Journal of Vascular Research 2021, 20;1-13</p>
<p>(学会発表等)</p> <ul style="list-style-type: none"> Hp-HSP60 特異的 T リンパ球の動脈硬化促進機序の解析 <i>H. pylori</i> 感染におけるマンノースレセプターファミリーDEC205 の役割 Hp-HSP60 特異的 T リンパ球の動脈硬化促進機序の解析 ペーチェット病患者由来細菌抗原の免疫反応に関与する研究 	<p>綾田潔、横田憲治、<u>平井一行</u>、ほ か 3 名</p> <p>藤本聖人、横田憲治、<u>平井一行</u>、 ほか 4 名</p> <p>綾田潔、横田憲治、<u>平井一行</u>、ほ か 3 名</p> <p>申 蓮花、横田憲治、<u>平井一行</u>、 ほか 3 名</p>	<p>第 81 回 日本細菌学会総会 京都 2008</p> <p>第 81 回 日本細菌学会総会 京都 2008</p> <p>第 14 回 日本ヘリコバクター学会 神 戸 2008</p> <p>第 17 回 Lancefield レンサ球菌研究 会 徳島 2008</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・コレラ菌およびコレラ毒素 B サブユニットに対するニワトリ抗体 (IgY) の有用性 ・ <i>Helicobacter pylori</i> による培養細胞からのサイトカイン誘導能の検討 ・コレラ菌およびコレラ毒素 B サブユニットに対するニワトリ抗体 (IgY) の有用性 ・ <i>Helicobacter pylori</i> による培養細胞からのサイトカイン誘導能の検討 ・ <i>Helicobacter pylori</i> 抗原刺激による胃癌患者の末梢血マクロファージセプターDEC205 の発現解析 ・ <i>Helicobacter pylori</i> 感染動脈硬化モデルマウスにおける T 細胞の関与 ・コレラ菌およびコレラ毒素Bサブユニットに対するニワトリ抗体 (IgY) の有用性 ・ <i>Helicobacter pylori</i> 感染動脈硬化モデルマウスにおける T 細胞の関与 ・コレラに対するニワトリ抗体 (IgY) の有用性 (第2報) ・コレラ菌およびコレラ毒素 B サブユニットに対するニワトリ抗体 (IgY) の有用性 ・コレラ菌およびコレラ毒素 B サブユニットに対するニワトリ抗体 (IgY) の有用性 ・非結核性抗酸菌の新規検出方法の開発 ・病院内水系の安全性確保における抗酸菌の検出について ・非結核性抗酸菌検出用の改良シュウ酸法の開発 ・アセトアルデヒドの核酸付加体形成に関する研究 ・非結核性抗酸菌の新規検出法の開発 ・アセトアルデヒド処理による細胞内核酸アダクト形成 ・アセトアルデヒド由来核酸アダクトの高感度検出 ・改良シュウ酸法による非結核性抗酸菌 (NTM) の検出と応用 ・アセトアルデヒド由来核酸アダクトの培養細胞からの検出 ・オゾン水の抗菌評価について H26-1 ・オゾン水の抗菌評価について H26-2 ・環境水からの NTM (非結核性抗酸菌) 検出法の基礎検討と応用 ・アセトアルデヒド由来核酸アダクトの HL-60 細胞からの抽出 ・イミダゾキノリン骨格を側鎖に有する新規アミノ酸の合成および TLR7 に対する活性 	<p>平井一行、衛藤友美、長町榮子、ほか 5 名 衛藤友美、横田憲治、平井一行、ほか 3 名 平井一行、衛藤友美、綾田 潔、ほか 5 名 衛藤友美、横田憲治、平井一行、ほか 3 名 横田憲治、綾田潔、平井一行、ほか 3 名 綾田 潔、平井一行、横田憲治、ほか 1 名 平井一行、綾田 潔、横田憲治、ほか 1 名 綾田 潔、横田憲治、平井一行、ほか 1 名 平井一行、衛藤友美、長町榮子、ほか 5 名 平井一行、衛藤友美、大野佑子、ほか 6 名 平井一行、衛藤友美、大野佑子、ほか 6 名 平井一行、細田浩一、平井義一、ほか 2 名 平井一行、倉屋 雄、西岡絢子、ほか 6 名 平井一行、細田浩一、平井義一、ほか 2 名 平井一行、藤澤 豊、倉屋 雄、ほか 4 名 平井一行、下村裕史、林 俊治、ほか 1 名 平井一行、藤澤 豊、倉屋 雄、ほか 4 名 土谷崇裕、平井一行、藤澤 豊、ほか 3 名 平井一行、伊奈田宏康、下村 裕史、ほか 3 名 平井一行、藤澤 豊、伊藤朱里、ほか 4 名 中山浩伸、平井一行 中山浩伸、平井一行 平井一行、平井義一 平井一行、藤澤 豊、伊藤朱里、ほか 5 名 藤田快男、平井一行、田口博明</p>	<p>第 82 回 日本細菌学会総会 名古屋 2008 第 61 回 日本細菌学会中国・四国支部総会 松山 2008 第 82 回 日本細菌学会総会 名古屋 2009 第 82 回 日本細菌学会総会 名古屋 2009 第 82 回 日本細菌学会総会 名古屋 2009 第 82 回 日本細菌学会総会 名古屋 2009 第 83 回 日本感染症学会総会 東京 2009 第 83 回 日本感染症学会総会 東京 2009 第 62 回 日本細菌学会中国・四国支部総会 広島 2009 第 43 回 腸炎ビブリオシンポジウム 岡山 2009 第 130 年会 日本薬学会 岡山 2010 第 132 年会 日本薬学会 札幌 2012 第 31 年会 日本社会薬学会 三重 2012 第 133 年会 日本薬学会 横浜 2013 日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会岐阜 2013 第 87 回 日本細菌学会総会 東京 2014 第 134 年会 日本薬学会総会 熊本 2014 第 60 回 薬学会東海支部 三重 2014 第 60 回 薬学会東海支部 三重 2014 日本薬学会東海ブロック 静岡 2014 平成 26 年度戦略的基盤技術高度化支援事業 第 1 回 研究開発委員会 三重 2014 平成 26 年度戦略的基盤技術高度化支援事業 第 1 回 研究開発委員会 三重 2015 第 30 回 日本環境感染学会 神戸 2015 第 135 年会 日本薬学会総会 神戸 2015 第 61 回 日本薬学会東海支部大会 名古屋 2015</p>
--	--	---

<ul style="list-style-type: none"> ・オゾン水の抗菌評価について H27-1 ・TLR7/8 を標的とした新規アミノ酸型アジュバント ・オゾン水の抗菌評価について H27-2 ・空中浮遊菌サンプラーを用いた非結核性抗酸菌の分離検出 ・イミダゾキノリン骨格を側鎖に有する新規アミノ酸のTLR7及びTLR8に対する活性 ・TLR7/8 活性化機能を有する免疫自己賦活型インフルエンザワクチンの開発 ・有機物存在下におけるオゾン水の殺菌効果 ・オゾン水の抗菌評価について H28-1 ・オゾン水の抗菌評価について H28-2 ・エアロゾルサンプルからの非結核性抗酸菌の分離検出 ・新誘電体ガラスを備えた数十グラムのオゾン発生システムの開発 ・オゾン水の微生物不活化における有機物の影響 ・内視鏡洗浄機の細菌汚染調査 ・ヒトパラインフルエンザ2型ウイルスをベクターとしたコレラワクチンの開発 ・高レベル消毒薬の抗酸菌に対する消毒効果の検討 ・NDB オープンデータ・薬剤データの薬学教育の教材作成への有効性 ・DBD プラズマアクチュエータを用いた大腸菌の殺菌 ・誘電体バリア放電の誘起流を用いた殺菌 <p>ほか8編</p>	<p><u>平井一行</u>、中山浩伸</p> <p>藤田快男、<u>平井一行</u>、西田圭吾、ほか1名</p> <p><u>平井一行</u>、中山浩伸</p> <p><u>平井一行</u>、下村裕史、伊奈田宏康、ほか2名</p> <p>藤田快男、<u>平井一行</u>、田口博明</p> <p>藤田快男、<u>平井一行</u>、西田圭吾、ほか1名</p> <p>安藤尚幹、<u>平井一行</u>、駒田 洋、ほか5名</p> <p><u>平井一行</u>、中山浩伸</p> <p><u>平井一行</u>、中山浩伸</p> <p><u>平井一行</u>、横田憲治、平井義一</p> <p>宗内篤夫、中山浩伸、<u>平井一行</u>、ほか1名</p> <p>安藤尚幹、<u>平井一行</u>、中山浩伸、ほか5名</p> <p><u>平井一行</u>、平井義一、渡辺朱里、横田憲治</p> <p><u>平井一行</u>、河野光雄、駒田洋、水谷健人、杉野香江、伊奈田宏康</p> <p><u>平井一行</u>、笹原鉄平、林俊治</p> <p>藤田快男、<u>平井一行</u></p> <p>山川太嗣、横山春喜、<u>平井一行</u>ほか1名</p> <p>山川太嗣、横山春喜、<u>平井一行</u>ほか1名</p>	<p>平成 27 年度戦略的基盤技術高度化支援事業 第1回研究開発委員会 三重 2015</p> <p>第9回次世代アジュバント研究会 大阪 2015</p> <p>平成 27 年度戦略的基盤技術高度化支援事業 第2回研究開発委員会 三重 2016</p> <p>第 89 回 日本細菌学会総会 大阪 2016</p> <p>第 136 年会 日本薬学会 横浜 2016</p> <p>第 62 回 日本薬学会東海支部総会・大会 愛知 2016</p> <p>第 62 回 日本薬学会東海支部総会・大会 名古屋 2016</p> <p>平成 28 年度戦略的基盤技術高度化支援事業 第1回研究開発委員会 三重 2016</p> <p>平成 28 年度戦略的基盤技術高度化支援事業 第2回研究開発委員会 三重 2017</p> <p>第 32 回 日本環境感染学会 神戸 2017</p> <p>第 26 回 オゾン協会研究講演会 東京 2017</p> <p>第 27 回 日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2017</p> <p>第 32 回 日本環境感染学会 神戸 2019</p> <p>第 139 年会 日本薬学会総会 千葉 2019</p> <p>第 140 年会 日本薬学会総会 京都 2020</p> <p>第 140 年会 日本薬学会総会 京都 2020</p> <p>第 169 回 教育工学研究会 2021</p> <p>令和 3 年電気学会基礎・材料・共通部門大会 2021</p>
---	--	---

<p>(その他)</p> <p>・尿路感染症における起因菌の適切な診断支援は抗菌薬使用量の減少につながる</p>	<p><u>平井一行</u></p>	<p>日本薬学会ファルマシア, 2021, 57(12)</p>
--	--------------------	--------------------------------------